

県立並木中等教育学校 学校長：井坂 隆

【実施日時】	平成21年1月16日(金) 13:20~15:10
【参加者と人数】	第1学年118名
【講師】	富久尾 歩(日本) 武田 記代子(日本)
【活動内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・青年海外協力隊, 国際協力に関する事前アンケートの実施 ・ボリビア村落開発普及員隊員, チュニジア手工芸隊員の分科会に分かれての講演 ・事後アンケート(感想)の実施
【参加者の感想】	<p>・「自分がどれだけ恵まれているのか」自分ではあまり感じていなかったけれど, 私たちはこの上なく幸せで恵まれているということを実感しました。発展途上国のことやそのような国の子どもたちのことも知っているつもりでしたが, その知識は本物の現状の足下にも及ばないというのがわかりました。先生がおっしゃった「3秒に1人の子どもが飢えや病気で亡くなっている」という言葉が印象的でした。</p> <p>・もっとほかの国をよく知る事が自分には必要だと感じました。今の現状をよく知らなければ, いろいろな国の人と心を通わせることは難しいのだとこの講演を通じて感じたからです。</p> <p>・ボランティアがとても身近に感じられました。自分にもできそうな募金活動などから積極的にやってみたいと思いました。職業や資格・言葉の壁を越えた「国際協力」というものをもっと身近なものにできたらいいなと思いました。</p>
【担当者の感想】	<p>現在まで国際理解に関する学習を取り上げておらず, 生徒たちは小学校で学習してきた範囲の知識で講演を聴いた。事前アンケートでは, 38%の生徒が青年海外協力隊については知らなかったと答えていた。世界に目を向ける大きなきっかけになったと感じる。これまで頭では理解していたつもり知識が, 実際に体験され, 経験を積まれた先生方の生の話を聞いたり, 質問をしたりすることで活性化し, これからの学習の大きな指針になってくれたのではないかと感じた。生徒も講演に際しては自主的に調べ学習を進め, 質問を考えてくるなどの姿が多く見られた。事後アンケートからは「先生方のように青年海外協力隊として自分も将来活躍したい」という思いを抱いた生徒も見られた。たいへん充実した講演会であり, このような機会をいただけたことに感謝したい。</p>

